

測量設計調査業務委託 特記仕様書

中野市 道路河川課

1 適用範囲

本特記仕様書は、下記事業に伴う業務箇所の業務に適用する。

事業名	路河川名	箇所名
令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 市道篠井間山線測量設計調査業務委託（繰越明許）	市道篠井間山線	中野市大字間山

2 履行期間

本業務の履行期間は、契約書に定めた期日とする。

3 業務目的

本業務は、上記業務箇所において、道路の設計検討、詳細設計を行う際の基礎資料を取得し、設計検討に必要な土質区分の把握を取得するとともに、道路の設計検討及び工事に必要な詳細構造等の設計、各種図面の作成を行い、経済的かつ合理的に工事の費用を算定する資料を得るための業務である。

4 業務管理

受託者は、委託契約書、設計書、本特記仕様書、設計・測量・調査業務委託関係集、設計基準（長野県建設部（土木部）監修：最新版）、その他関係法令、条例、基準、通達等に準拠し、業務を施行しなければならない。

5 業務内容

業務内容			備考
測量業務	4級基準点測量	3点	・詳細は設計書による。
	現地測量	$A = 0.0044 \text{ km}^2$	
	路線測量	$L = 0.11 \text{ km}$	
	打合せ	中間打合せ3回	
設計業務	道路詳細設計	$L = 0.11 \text{ km}$	・詳細は設計書による。
	・設計条件 道路幅員 6.0m		
地質調査業務	機械ボーリング	$N = 2 \text{ 本}$ 、 $L = 20 \text{ m}$	・詳細は設計書による。
	標準貫入試験	20回	
	解析等業務	一式	

なお、業務の延長及び範囲は上記によるが、詳細な範囲は監督員と協議のうえ、決定する。

5-1 基準点測量

- ・座標値は「世界測地系 VIII系 測地成果2011」を使用すること。
なお、任意座標系を認めない。

5-2 地形測量

- ・測量区域内の地形、工作物（水道メーター、公共マス位置等）、地下埋設物、構造物、庭園、立木、電柱類（電柱番号）、建物壁、軒先、横断水路等のすべてを記入すること。また、路河川名及び流水方向、構造規格の分かるものは記入すること。

5-3 路線測量

- ・各種図にはBM（仮BM）、その他計画上必要な杭高、地盤高及び中心線と交差する水路、暗渠、取入口、排水口等を測定し、構造規格の分かるものは記入すること。

5-4 平面、縦断設計

- ・現地状況等を十分確認、熟知したうえで設計すること。
- ・街区基準点等位置、用地境界線、法尻線、構造物等はすべて記入すること。
- ・実測成果を基に横断水路、支道交差、水路、路面排水及び民地高等の諸条件を考慮のうえで設計すること。
- ・本線計画等をおこなう中で、既設道路敷地を残地として残さないよう極力考慮し、設計すること。

5-5 横断設計

- ・平面、縦断設計に基づき現地に即した設計をすること。
- ・横断図には本線、支道ともに幅員、路盤構成、構造物等及び用地境界位置も必ず記入すること。

5-6 道路付帯構造物、小構造物設計

- ・現地状況等を十分確認、熟知したうえで設計すること。
- ・平面計画内に街区基準点等が設置されている場合は、工事完了後に復旧、使用できるよう街区基準点等保護用構造物を計画すること。
- ・国土交通省及び長野県土木構造物設計基準を原則として使用し、特別の場合は監督員と協議して設計すること。
- ・構造物について、地形、地質、荷重条件等を考慮し、現場条件、設計条件に合致するよう設計すること。

5-7 仮設構造物、用排水設計

- ・用排水系統について確認及び検討し、系統図、計算書等を作成する。
なお、現地地質状況により、道路側溝（雨水排水のみ）の場合は浸透施設（枳及び側溝等）の検討を行なうこと。

5-8 調査

詳細な調査箇所は監督員と協議のうえ、決定する。なお、調査孔については調査実施後、確実に復旧すること。

掘削深度及び土質区分は想定値であるため、地質状況の変化が認められる場合及び最終深度は監督員へ協議すること。

6 貸与資料

必要な資料等は貸与するものとするが、受託者は責任を持ってこれを管理し、紛失、汚損の無いよう注意すると共に本業務以外に利用してはならない。また、貸与する資料等は使用後又は業務完了後速やかに返納すること。

貸与資料

- ・委託者が必要と認める資料

7 土地の立ち入り

現地調査等のため第三者の土地に立ち入り、または一般の交通に支障を及ぼす等第三者に損害を与える恐れのあるときは、あらかじめ監督員と細部にわたり打合せを行なうものとする。なお、現地調査等の業務を実施する前に地元関係者及び関係機関にその旨を周知し、周知完了後着手すること。

8 成果品

本業務の成果品は下記内容のものを2部提出とする。なお、委託者の承諾を受けず第三者への公表、貸与または受託者が使用することはできない。

- ・電子媒体（CD-R又はDVD-R）
報告書：excel 又は word 並びに PDF ファイル
図面類：*.jww、*.sfc、*.p21、*.dxf 又は*.hoc ファイル
- ・その他発注者が指示するもの

なお、本業務の完了後成果品において過失または疎漏に起因する箇所が発見、指摘された場合は、速やかに訂正及び対応を行うこと。

9 打合せ協議

業務着手時、中間打合せ3回、成果品納入時の計5回を計上している。

なお、中間打合せはその他必要に応じて実施することとし、それに伴う数量の増減は変更の対象とする。

10 その他

- ・受託者は、業務の実施にあたり安全に業務が施行できるよう、事前に現地を確認し、安全対策及び一般通行者への公衆災害防止に十分留意すること。
- ・本業務にあたり疑義が生じた際は、その都度監督員と書面により協議し、決定すること。